

第64期第2四半期(中間期)に
関するご報告 2021年3月1日～2021年8月31日

High Quality & Low Price



SUPER REPORT

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」
中期経営計画「2125計画」スタートの年

★第64期第2四半期
(中間期)開店



Contents

●事業のご報告	1	●第64期上期の出店と店舗改装状況	4
●業績概要 通期の見通し&ハイライト情報	2	●ESGへの取り組み	5
●長期ビジョンとビジネスモデル	3	●財務諸表	6



証券コード:2742

事業のご報告



2021年11月

代表取締役社長 佐藤 利行

社 訓

和して向上 日々感謝

経営理念

- 一、地域社会の生活文化向上に貢献する
- 一、従業員の幸せづくり人づくりをする
- 一、お取引先様との共存共栄をはかる
- 一、成長発展のため利益を確保する

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の新型コロナウイルス感染症の拡大により罹患された皆様、事業等に影響を受けておられる皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

私たちは食品スーパーマーケットとして、安全・安心を最優先に地域の生活者の皆様に対して何ができるかを考え、食料品の安定供給・安定提供を実行してまいり所存でございます。

ここに「第64期第2四半期(中間期)に関するご報告」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルスワクチン接種の進捗や米国等の金融緩和の継続等による経済回復への期待が高まっているものの、国内の感染症拡大防止策による経済活動及び社会活動の抑制等により、先行きに不透明感を残す状況で推移しました。

小売業界におきましては、引き続き、感染症拡大防止のための外出自粛による生活者の購買行動の変化により、業種別の格差が業績に表れました。また、企業収益の減少に伴う雇用・所得環境の悪化を背景に、日常の買物での生活防衛意識はさらに強まり、低価格志向が続きました。なお、スーパーマーケット業界では、前年同期の水準は下回るものの、引き続き食料品を中心とした在宅消費増加の傾向が継続しました。

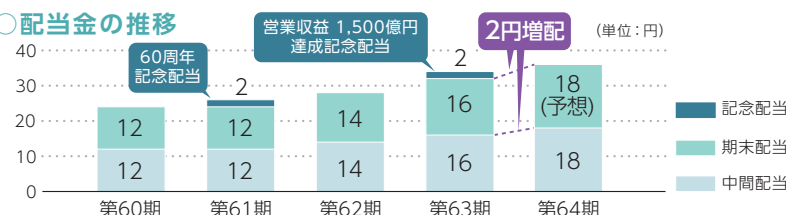
このような状況の中で当社は、次の取り組みを行いました。

- ①販売促進面 生活防衛企画及び自社会員カード(ハロカ)のポイント優遇施策
- ②商品面 重点販売商品の育成
プライベートブランド商品のシェアアップ
- ③店舗運営面 3店舗の新規出店
既存店2店舗の大改装による販売力の強化
24時間営業の継続
セルフレジ導入の拡大
自動発注対象商品の拡大
新型コロナウイルス感染症防止対策
- ④社会貢献面 フードバンク事業運営団体への商品提供
エコセンターによる資源の再利用
プライベートブランド商品の一部収益による環境保全活動
広島県福山市の「鞆・一口町方衆」応援プロジェクトへ参加
広島県安芸郡熊野町と「災害時における応急対策活動に関する協定」の締結
広島県神石郡神石高原町と「神石高原フードバンク事業への食品提供に関する協定」の締結
- ⑤経営面 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社への移行

以上の結果、当第2四半期累計期間の営業収益は808億80百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は40億20百万円(前年同期比3.7%増)、経常利益は40億22百万円(前年同期比4.1%増)、四半期純利益は27億28百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○配当金の推移





ハイライト情報 Financial Highlights

業績概要

営業収益

当第2四半期累計期間の営業収益のうち、売上高は前期開店した5店舗、前期改装した3店舗、当期開店した3店舗の効果などにより前年同期比39億53百万円増加し788億51百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

また、営業収入は前年同期比2億74百万円増加し20億28百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

以上の結果、営業収益は前年同期比42億28百万円増加し808億80百万円(前年同期比5.5%増)となりました。

営業利益

営業総利益は、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛により、内食傾向が高まり素材系商品の売上高及び売上総利益等の増加により、前年同期比10億95百万円増加し217億43百万円(前年同期比5.3%増)となりました。

販売費及び一般管理費は、新規出店3店舗分に係る消耗品費、コロナ対策支援金などによる人件費の増加などにより、前年同期比9億49百万円増加し177億23百万円(前年同期比5.7%増)となりました。

以上の結果、営業利益は前年同期比1億45百万円増加し40億20百万円(前年同期比3.7%増加)となりました。

経常利益

営業外収益は、前年同期比5百万円増加し62百万円(前年同期比10.2%増)となり、営業外費用は前年同期比7百万円減少し59百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比1億58百万円増加し40億22百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

四半期純利益

特別利益は1百万円、特別損失は6百万円となりました。

以上の結果、四半期純利益は前年同期比41百万円増加し27億28百万円(前年同期比1.6%増)となりました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止策による社会・経済活動の抑制等により景気の先行きに不透明感があると予想され、雇用・所得環境の悪化により、消費マインドの冷え込み懸念など、生活防衛意識による慎重な購買活動及び低価格志向が続くものと見込まれます。加えて、人口の減少、年齢構成及びライフスタイルの変化などが続き、これらへの対応及びオーバーストアなどの競争環境激化への対応が迫られております。

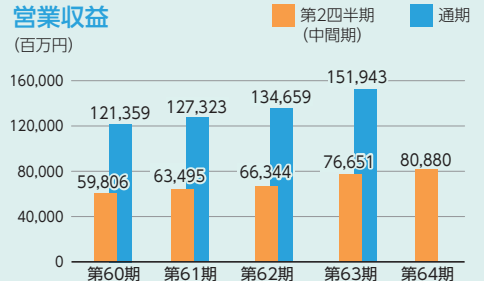
このような環境の中、変化・競争化の中でも、感染症予防策を行いながら安全・安心な商品を安定供給すべく、新規出店及び既存店の改装を積極的に行い、お客様満足度の高い店舗により商勢圏内の優位性確立を目指してまいります。

なお、当第2四半期の業績は好調に推移しておりますが、引き続き、新型コロナウイルス感染症による影響については予測困難であるため、業績予測は据え置き、通期の見通しは、営業収益1,568億円(前期比3.2%増)、営業利益73億30百万円(前期比3.6%減)、経常利益73億円(前期比3.7%減)、当期純利益49億20百万円(前期比10.5%減)としております。

今後、当該事項に関連し、当社の業績に大きな影響を及ぼす場合は速やかに開示いたします。

営業収益

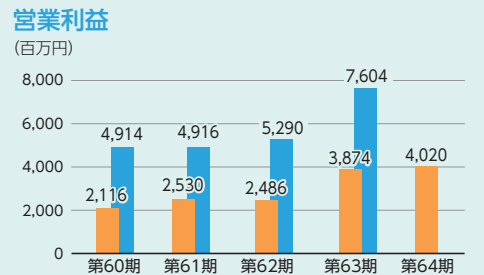
(百万円)



(注)「営業収益」は、「売上高」と不動産賃貸収入等の「営業収入」を総称したものです。

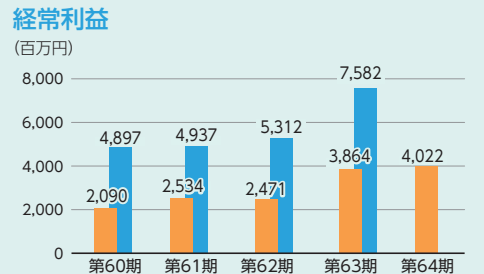
営業利益

(百万円)



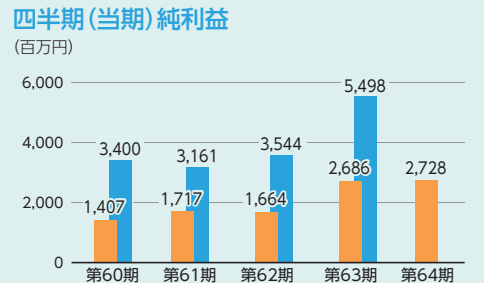
経常利益

(百万円)



四半期(当期)純利益

(百万円)



長期ビジョンとビジネスモデル

長期ビジョン

瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想 中期経営計画「2125計画」

長期ビジョン「瀬戸内商勢圏180店舗3000億円構想」達成に向け、中期経営計画「2125計画」をスタートいたしました。

2125計画とは？

2025年度迄に
120店舗体制で
2000億円を達成！

詳細は下記の
ウェブサイトより
ご確認ください。



<https://www.halows.com/ir/vision/>

2125計画とは、2025年度までに120店舗体制で営業収益2000億円を達成する計画です。お客様の生活スタイルに対応した「より良い商品」を「低価格」で提供していきます。

食をプロデュースするハローズへ進化

お客様が日々ご利用いただけるハローズを目指します。低価格、品揃え、サービス機能の強化により「地域一番お客様貢献店づくり」を推進していきます。

ビジネスモデル ① 24時間オペレーション

いつでも買い物ができる24時間営業は お客様への究極のサービス

様々なお客様のニーズに24時間応えるため、食料品スーパーマーケットならではの豊富な品揃えと、心を込めた接客サービスで、お客様のご来店をお待ちしております。

雇用と就業ニーズのマッチング

24時間営業を行うためには、深夜帯の従業員の雇用が不可欠となります。当社では、深夜帯でも複数による従業員の就業体系や柔軟なパートタイム勤務体系を導入することで、安心・安全に働くことができる環境整備に取り組んでおります。

ビジネスモデル ② 600坪型店舗のNSC

600坪型標準店舗

高い天井、広い通路、売場面積は600坪及び450坪の店舗を主体に展開しており、全体の約80%以上が600坪型店舗であります。広い店内空間は3密対策にもなり、売場面積は商品の品揃えの豊富さに比列します。今後も600坪型の店舗を中心に出店を行ってまいります。

NSCによる競争力のある商業エリア

生活に密着した業種・店舗を誘致してNSCを形成することで、ショートタイムショッピングができる環境をつくり、お客様への利便性を高め、魅力あるお買い物エリアを展開しております。時代に合った魅力ある店舗構成にすることで、強い競争力を持つNSCづくりに取り組んでまいります。(2021年8月末現在 ハローズのNSC比率 約80%)

※NSC:近隣購買型ショッピングセンター



第64期上期の出店と店舗改装状況

新規開店	広島県広島市西区 クサツシンマチテン 「ハローズ草津新町店」	2021年 4月9日 オープン
	広島県安芸郡熊野町 「ハローズ熊野店」	2021年 4月27日 オープン
	広島県廿日市市 ミヤウチテン 「ハローズ宮内店」	2021年 7月27日 オープン
大改装	広島県福山市 開店日：2005年4月 ベキヤテン 「ハローズ駅家モール店」	2021年 6月25日 リニューアルオープン
	岡山県総社市 開店日：2009年2月 ソウジャテン 「ハローズ総社店」	2021年 7月16日 リニューアルオープン

中期経営計画「2125計画」達成に向け、
下期には、
**岡山県2店舗、
兵庫県1店舗**の開店を
予定しております。



また、従業員が活き活きと夢や目標に向かって活躍できるハローズを目指します。人事制度、オペレーション、店舗施設などを再構築し、「元気が出る会社づくり」をはかっていきます。

最後に、ビジネスモデルの強化で成長するハローズを目指します。四国物流センター(仮称)新設による物流拠点網の拡大と効率的な物流体制などを展開し、「生産性の高い会社づくり」を行っていきます。

ビジネス
モデル

③

High Quality & Low Price
Stores (HALOWS)

より良い品をより安く

当社はより良い品をより安く(High Quality & Low Price Stores)、お客様へ提供し続けることを使命と考えております。自社物流及び本部機能を中心に、調達～販売までをコントロールすることで、品質・品揃えの向上、商品原価の低減を進めてまいります。

ハローズセレクション

当社プライベート・ブランド(PB)商品「ハローズセレクション」は安全・安心・健康がコンセプトです。

国内外を問わず世界のベストソースから調達・開発を行い、適切な品質とお値打ち価格でお客様にお届けしてまいります。

PB総品目数

889品目

売上高構成比

11.2%

2021年8月末



コロナに対応



自分の生活スタイルに合わせて
いつでも買物ができる**24時間営業**

高い天井・広い通路で3密にならない
短時間で買物ができる

低価格販売で生活者のくらしを守る

ESGへの取り組み



食品ロスへの取り組み

ハローズの店舗から近隣のフードバンクや支援団体へ直接提供する仕組み「ハローズモデル」を、国内の小売業各社以外にもメーカー・卸売業者様にも賛同していただき、社会貢献の輪を広げることができております。

ハローズ モデル



持続可能な食品ロス削減への取り組み

災害時における応急対策活動に関する協定の締結

広島県安芸郡熊野町とハローズは「災害時における応急対策活動に関する協定」を締結いたしました。

万一の災害発生時に住民の皆様の安全の確保と生活の安定をはかるため、食料・生活必需品及び一時避難場所の提供の協力について締結したものです。

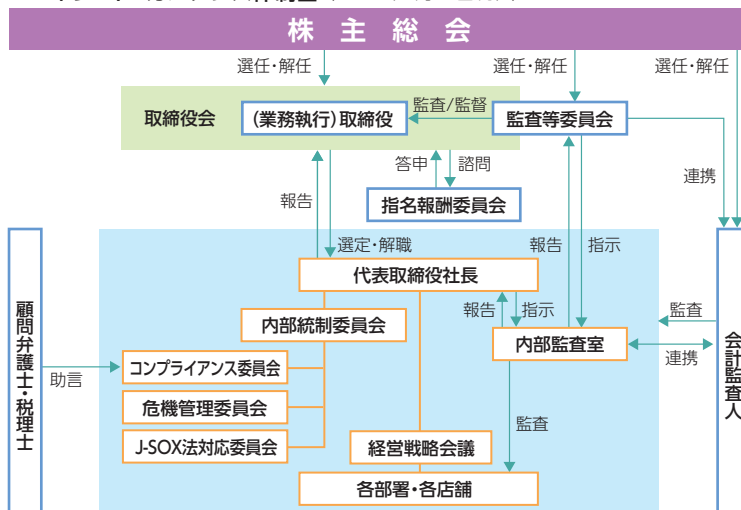


「監査等委員会設置会社」へ移行

当社は、企業統治の体制として、2021年5月27日をもって監査等委員会設置会社に移行いたしました。会社法制は勿論のこと、各種法令・ルール・社会規範を遵守し、透明でかつ公正な事業の遂行をすることにより、企業の安定性確保や社会環境に適合するなど企業の社会的責任(CSR)を広く果たし、お客様や地域社会に貢献することができる企業を目指して経営を行ってまいります。

役員は取締役(監査等委員である取締役を除く)10名(うち社外取締役2名)、監査等委員である取締役5名(うち社外取締役4名)の体制となっており、社外取締役6名は、独立役員として東京証券取引所に届出をしております。社外取締役に、当社の業務執行に関し、適法性・妥当性確保の観点から専門家を選任しております。

コーポレート・ガバナンス体制図 (2021年5月27日現在)



財務諸表



■ 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	第63期第2四半期末 2020年8月31日現在	第64期第2四半期末 2021年8月31日現在	第63期 2021年2月28日現在
資産の部			
流動資産	15,890	20,494	27,866
現金及び預金	9,981	14,085	21,568
その他	5,912	6,413	6,302
貸倒引当金	△ 2	△ 3	△ 3
固定資産	59,681	65,002	62,978
有形固定資産	49,008	53,934	51,795
無形固定資産	405	341	389
投資その他の資産	10,267	10,726	10,794
資産合計	75,572	85,497	90,845
負債の部			
流動負債	20,871	21,578	27,779
買掛金	9,289	10,011	14,868
一年内返済予定の長期借入金	3,334	3,463	3,622
リース債務	630	559	612
未払金	1,225	1,079	2,077
未払費用	1,638	1,616	1,403
未払法人税等	1,414	1,418	1,663
その他	3,338	3,428	3,532
固定負債	17,622	17,347	18,849
長期借入金	10,626	10,041	11,718
リース債務	1,026	878	935
退職給付引当金	674	725	704
資産除去債務	1,353	1,458	1,408
預り建設協力金	992	1,015	953
長期預り敷金保証金	1,830	1,981	1,872
長期前受収益	790	937	928
その他	328	308	328
負債合計	38,493	38,925	46,628
純資産の部			
株主資本	36,959	46,458	44,086
資本金	3,114	5,430	5,430
資本剰余金	3,057	5,379	5,374
利益剰余金	30,920	35,759	33,415
自己株式	△ 133	△ 111	△ 133
評価・換算差額等	0	0	0
その他有価証券評価差額金	0	0	0
新株予約権	118	111	129
純資産合計	37,078	46,571	44,217
負債純資産合計	75,572	85,497	90,845

(注)各諸表の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

■ 四半期損益計算書

(単位:百万円)

	第63期第2四半期 累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	第64期第2四半期 累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	第63期 2020年3月1日から 2021年2月28日まで
売上高	74,897	78,851	148,257
売上原価	56,003	59,137	110,587
売上総利益	18,894	19,714	37,670
営業収入	1,754	2,028	3,685
営業総利益	20,648	21,743	41,355
販売費及び一般管理費	16,773	17,723	33,751
営業利益	3,874	4,020	7,604
営業外収益	56	62	134
営業外費用	67	59	155
経常利益	3,864	4,022	7,582
特別利益	168	1	169
特別損失	46	6	63
税引前四半期(当期)純利益	3,986	4,018	7,689
法人税等	1,299	1,289	2,190
四半期(当期)純利益	2,686	2,728	5,498

■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第63期第2四半期 累計期間 2020年3月1日から 2020年8月31日まで	第64期第2四半期 累計期間 2021年3月1日から 2021年8月31日まで	第63期 2020年3月1日から 2021年2月28日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	445	△ 1,234	11,589
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,048	△ 4,097	△ 7,560
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 648	△ 2,561	4,684
現金及び現金同等物 に係る換算差額	—	—	—
現金及び現金同等物 の増減額(△減少額)	△ 3,252	△ 7,892	8,713
現金及び現金同等物 の期首残高	14,535	23,249	14,535
現金及び現金同等物 の四半期末(期末)残高	11,283	15,356	23,249

会社情報



会社概要 (2021年8月31日現在)

会社設立	1958年10月14日
会社名	株式会社ハローズ
資本金	54億3,063万円
本社	広島県福山市南蔵王町六丁目26番7号 (同所は登記上の本店所在地で実際の業務は下記で行っております。)
本部	岡山県都窪郡早島町早島3270番地1 電話番号:086-483-1011(代表)
従業員数	1,248名
事業内容	食品スーパーマーケット業(食料品、日用雑貨品等の販売)
店舗数	94店舗 (広島県31店舗、岡山県25店舗、香川県12店舗、 愛媛県8店舗、徳島県9店舗、兵庫県9店舗)

役員 (2021年8月31日現在)

代表取締役社長	佐藤	利行
取締役副社長	佐藤	志教
専務取締役	小花	典名
専務取締役	高橋	正司
専務取締役	末光	憲美
取締役	小塩	登二
取締役	砂田	健義
取締役(社外)	藤井	則明
取締役(社外)	池田	二正
常勤監査等委員	小田	均
常勤監査等委員(社外)	尾崎	邦和
監査等委員(社外)	岡本	
監査等委員(社外)	稲福	
監査等委員(社外)	小林	

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当基準日	中間 毎年8月末日 期末 毎年2月末日
株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777(通話料無料)

○特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行(口座管理機関)の上記電話及びインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufig.jp/daikou/>

○株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。

上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部

単元株式数 100株

公告掲載方法 電子公告
公告掲載URL <https://www.halows.com/>

○やむを得ない事由により、電子公告が出不来ない場合は、日本経済新聞に公告いたします。

High Quality & Low Price



ハローズ ホームページのご案内 <https://www.halows.com/>
ハローズ財団 ホームページのご案内 <http://www.halowszaidan.or.jp/>



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。 環境にやさしい植物油インキにて印刷しています。